

EINスーパーデッキ22の注意事項

EINスーパーデッキ22（以下 ESD）は、樹脂と木粉との再生木材であることから、天然木材とは違った特性がありますので、設計・施工にあたりましては、以下の事項に注意して行って下さい。

1>設計時の注意点

■設置条件について

デッキは必ず、上から床板→根太（→大引き）→高さ調整材の構成で使用してください。床板を直接土の地面やコンクリート面に設置することはできません。必ず浮かせて通気と排水を確保してください。

設置する場所が排水状況の悪い箇所の場合、床板の変形や下地部材の劣化の原因になります。排水経路の確保をお願いします。

■伸縮について

ESD は熱と吸水により若干ですが膨張・収縮いたします。

幅方向、長さ方向共に、5mm の目地を開けて下さい。

建物などの他の構造物への突き合わせも 5mm 以上の目地を開けてください。

■固定方法について

床板の固定は、専用のクリップを使い、クリップが使えないような箇所は、脳天ビス留めするなど、フリーにならないようにしてください。

■張り出し長さについて

ESD は端部を必ず固定してできるだけ張り出し量を少なくしてください。

2>施工時の注意点

■保管について

ESD は立て掛けず、平置きして下さい。変形する恐れがあります。

一時保管する場合は雨に直接当たらないように、養生シートなどでカバーして下さい。

ハンマー等固い物を落としたりしないで下さい。割れ欠けの原因になります。

木口を硬い地面等に置く場合には、衝撃に注意して下さい。

■加工について

ESD の加工は、切断、穴明け、面取り、切削等、従来の木材と変わらない工具で可能です。

切り屑は樹脂を含む為、土に戻りません。掃き集めて適正に処理して下さい。

断面を長さ方向に切断しますと変形することがあります。

■施工について

専用クリップ付属のビスの締め付け時に使用するドリルのビット径は、軸径 4.5mm 以内の # 2 プラスビットをお使いください。

床板を脳天ビス留めする場合は、あらかじめ床板に下穴を空けて施工して下さい。下穴はビス径より大きめにして下さい。

ビスを木口近くに打つと木口に向かってヒビが入る恐れがあります。

3>使用時の注意点

ESD は可燃物です。火気には十分注意してください。

雨に濡れますと、天然木材と同様に木材のアクが表面に出てきますが、何度も雨にさらされることで周囲と馴染んできます。

汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいブラシ等で水洗いした後、雑巾などで乾拭きして下さい。ブラシは、長手方向の目に沿ってご使用ください。

シミや傷跡が目立つ場合は、サンドペーパー（40 番程度）を使うことで目だちにくくする事ができます。

紫外線により、表面が風化し顔料が浮いてくる場合がありますので、「顔料が付着すると不都合な場所」は、定期的に清掃して下さい。

4>保証制度

■保証内容

万一の不備に備え、納入期日から起算して2年間の保証期間を設定しております。当社製品が正規のご使用にもかかわらず、部品・材料の欠陥、又は設計・製作上の欠陥により故障が生じた場合保証期間であれば無償修理などが保証されます。

■補償対象の範囲外

下記の場合は保証の対象外となります。

乱用又は誤ったご使用方法による故障・損傷または破壊。

改造された場合による故障・損傷または破壊。

経年変化による色あせ及び摩耗。

地震、火災、雷など天災による故障・損傷または破壊。

納入・組み立て・施工・検査終了後の移動などによる故障・損傷または破壊。

その他、これに準ずる場合。

5>保険制度

■生産物賠償責任保険

全ての製品を対象とした生産物賠償責任保険に加入しています。製品のご使用において、万一生産上の過失により事故が発生した場合には責任ある保証を行います。